

うごぎいます

県民表彰などの各表彰者を紹介します。

県民表彰（地方自治）

友廣 ともひろ

郁洋さん いっひろ

（志佐・長野、76）



平成18年1月の合併後の初代市長として、平成30年2月まで、3期12年にわたり、働く場所づくりと市民所得の向上を柱に、市勢発展のため邁進されました。
特に、西九州道伊万里松浦道路の早期完成、九州電力松浦発電所2号機建設再開のほか、母牛1000頭増頭の推奨、高度衛生管理型による松浦魚市場への再整備着手、東部工業団地の造成及び完成と積極的な誘致による企業進出など、強いリーダーシップのもとさまざまな成果をもたらされました。
また、(仮称)JCHO松浦中央病院の開設承認と(仮称)市民福祉総合プラザ整備の具体化、高校生までの医療費や学校給食費への助成をはじめ、子育てしやすいまちづくりを進められました。

県民表彰（地方自治）

川浪 かわなみ

洋子さん ようこ

（今福・人柱、65）



『毎月勤労統計調査』の調査員として平成3年7月から現在に至るまで6回、『労働力調査』の調査員として平成7年4月から平成30年7月まで20回、『商業動態統計調査』の調査員として平成24年2月から平成30年3月まで2回、『工業統計調査』、『経済センサス』、『就業構造基本調査』など多くの各種統計調査に従事されました。長年にわたる統計調査の功績により、これまでも平成10年に総務大臣表彰、平成18年に統計功績者総務大臣表彰を受賞されています。
統計調査に対する認識が深く、調査環境が年々厳しくなっている中においても的確な調査を行い、統計業務の推進並びに統計行政への啓発、統計思想の普及に大きく貢献されました。

県民表彰（特別賞）

板垣 いたがき

勇さん いさむ

（松浦高等学校、47）



第17回全日本なぎなた選手権大会において、優勝の栄冠に輝き、長崎県のスポーツ水準の向上に貢献したことが高く評価され、今回の受賞となりました。
長崎県立松浦高等学校なぎなた部の顧問を務め、同部を第13回全国高等学校なぎなた選抜大会において3位入賞に導くなど、指導者としても優れた能力を発揮されています。
また、小中学生を対象にしたなぎなた教室『清心館』を立ち上げ、地域においても熱心に指導を行い、なぎなた競技の普及啓発活動に取り組みとともに競技力向上に尽力され、『なぎなたのまち松浦』の地域スポーツの発展に大きく貢献されました。

県民表彰（特別賞）

野上 のがみ

昂生さん こうせい

（志佐・上高野、17）



第29回全国高等学校ボクシング選抜大会JOCジュニアオリンピックカップ男子ミドル級において、優勝の栄冠に輝き、長崎県のスポーツ水準の向上に貢献したことが高く評価され、今回の受賞となりました。
また、平成30年度全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会ミドル級においても2位入賞の成績を収めるなど、これまで出場した数多くの大会においても入賞を果たしています。
学校にボクシング部がないため、市外のジムに通って技術を磨き、日々の練習を工夫しながらトレーニングに励まれており、全国で戦える強い体と精神力を身につけられました。

受賞おめでと

平成30年度ながさき水産業大賞 ながさき水産業大賞運営委員長賞受賞

谷川水産株式会社(谷川一壽代表)が11月17日、ながさき水産業大賞特別賞(ながさき水産業大賞運営委員長賞)を受賞しました。

この賞は、地域の特色を活かした先進的な活動を展開し、成果を上げている漁業者や組織を表彰するものです。

同社は、養殖サバのブランド「長崎ハーブ鯖」の共同開発と生産および販売を行い、高品質な養殖魚の販路拡大を図られています。

また、長崎県トラフグ・マダイ適正養殖認定業者に指定され、焼酎の絞り粕を活用した餌を利用するといった養殖試験などを通して、品質向上にも積極的に取り組み、高い養殖技術と経営手腕により「ほしかタイ養殖産地協議会」の会長、地域振興組織(一般社団法人青島〇)の代表理事として地域を牽引していることも評価されました。



平成30年度ながさき農林業大賞 長崎県知事賞受賞

有限会社法知園(井手眞悟代表取締役)が11月17日、ながさき農林業大賞長崎県知事賞(トップファーマー(特産部門))を受賞しました。

同社が経営する630アールの茶園には、自社所有の茶園に加え、周辺農家から借り受けた茶園も含まれており、耕作放棄地化を防ぐとともに、松浦茶を用いたペットボトル茶の商品開発など、6次産業化にも積極的に取り組み、松浦茶の知名度向上を図ることで、将来における松浦茶の産地の維持・拡大の実現に邁進されています。

また、自身が会長を務める「ながさきグリ茶研究会」が毎年、松浦高校などでお茶の淹れ方教室を開催していることも、お茶の文化振興や地域の茶業発展に貢献していると評価されました。



税に関する作文入賞者表彰

「税を考える週間」(11月11日～17日)の一環として、松浦市租税教育推進協議会(友田吉泰会長)などが中学生と高校生を対象に募集した「税に関する作文」の入賞者表彰式が11月15日、生涯学習センターで行われました。

この作文の募集は、将来を担う中学生や高校生が税に対する関心を高め、税について正しい理解を深めてもらうことを目的としています。今回は平戸税務署管内から1,366点の応募があり、本市からは5点が入賞しました。入賞者は右のとおりです(敬称略)。



【高校生】

《松浦市租税教育推進協議会会長賞》

大石 歩実(松浦高校3年)

《松浦市租税教育推進協議会優秀賞》

高田 康生(松浦高校1年)

末竹 真紀(松浦高校2年)

《平戸税務署長賞》

中山 杏奈(松浦高校2年)

【中学生】

《松浦市租税教育推進協議会会長賞》

濱田 莉子(御厨中3年)